

Humming Bird未来基金活動内容

UFIグループは、Humming Bird未来基金の理念に賛同し、持続可能な社会の実現に向け、社会貢献活動を行っております。



2013年 8月	公益財団法人日本盲導犬協会への募金活動を開始	
2017年 5月	「児童未来基金」発起人会を発足	
6月	「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援を開始 NPO法人 Tokyo Smile Foundation への寄付	
12月	発起人会 東都クラブ 京葉ボーイズへ活動支援として寄付 「ライラック少年少女合唱団」へ活動支援として寄付を開始	
2018年 3月	第 2 弾「ライラック少年少女合唱団」へ活動支援	
7月	東日本豪雨で被災した子供たちへの支援	
8月	平成 30 年度 「未来を担う私たちの主張（青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
2019年 1月	「自動未来基金」の名称を「Humming Bird 未来基金」へ刷新	
2月	第 2 弾「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援 NPO法人 Tokyo Smile Foundation へ寄付	
8月	平成 31 年度 「未来を担う私たちの主張（青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
9月	UFI USA30 周年記念パーティーにて、盲導犬育成募金を設置	
2020年 2月	1. 「口唇裂・口蓋裂」など特殊な手術を必要とする子供たちへの支援 NPO法人 Tokyo Smile Foundation へ寄付 2. 誰も取りこぼさない社会をつくる。こども食堂への支援 NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえへ寄付	
8月	令和 2 年度「少年の主張大会（旧：青少年の主張大会）」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
11月	障害者施設「朝日園（香川県）」：送迎用福祉車両導入支援金として寄付	
2021年 4月	UFI ライフサイエンス(株) 企画「日本製サージカルマスク」を 土浦協同病院、龍ヶ崎済生会病院、公平病院へ寄贈	
8月	令和 3 年度 「少年の主張 埼玉県大会」協賛 【主催】埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議	
2022年 3月	チャリティーフェア開催（売上金の一部を寄付） 3月23日～3月25日 ファンシーフーズ工場直売店	
2023年 5月	少年の主張大会への 5 年間にわたる協賛に対して、 埼玉県知事の大野元裕氏より感謝状を授与	
8月	令和 5 年度「少年の主張 埼玉県大会」協賛	
2024年 2月	NPO法人「東京発アジアの子どもたちに微笑を」へ寄付	
8月	令和 6 年度 「少年の主張 埼玉県大会」協賛	
10月	公益財団法人「日本盲導犬協会」へ寄付	
2025年 1月	障害者支援施設「朝日園（香川県）」へ寄付	

その他の社会貢献活動

- ・小児がん患者、患児家族への支援活動団体「一般社団法人 みんなのレモネードの会」への寄付
- ・公益財団法人日本野球連盟加盟団体「東都クラブ京葉ボーイズ」への野球ボール寄付
- ・虐待や貧困などの問題を抱える子供たちへの支援団体「認定 NPO 法人 3Keys (スリーキーズ)」への寄付

会社概要

名称	UNITED FOODS INTERNATIONAL株式会社	売上高	UFIグループ合計871億円（2024年9月）
創立	1976年10月	代表取締役	青木 啓之
資本金	9,900万円	所在地	〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1-5-18 千代田ビル



UNITED

FOODS

INTERNATIONAL

2025 ESG Report



食を通じて 世界の人々の暮らしを 豊かにする

UFIグループはこの企業理念を掲げ、事業活動を通じ サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

私たちは、「社会の持続可能な発展に貢献すること」をパーパスに掲げ、環境・社会・ガバナンスの各分野で着実に取り組みを進めてまいりました。変化のスピードが増す時代においても、これまで培ってきた実践を礎に、さらなる社会的価値の創出に努めてまいります。

環境面では、再生可能エネルギーの活用拡大や設備の省エネ化を通じて、温室効果ガス排出の削減を推進しています。社会面においては、多様性と包摂性の尊重を基本とし、性別・年齢・国籍を問わず多様な人材が活躍できる職場づくりに注力しています。さらに、地域社会との連携を深め、教育支援や災害時の支援体制の強化など、共生に根ざした取り組みを拡充しています。

私たちは、技術力と現場力を結集し、地球規模の課題に真摯に向き合う企業として、より良い未来の実現をめざしてまいります。今後ともステークホルダーの皆さまとともに歩みを進めてまいりますので、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



UFIグループの社会課題への取り組み

我々は、サステナブルな社会の実現のため、『事業活動を通じて社会に貢献する』という基本姿勢のもと、世界共通の課題でもある「2030年持続可能な開発目標の達成(SDGs)」及び「2050年カーボンニュートラル達成」に加え、各事業所周辺での地域貢献活動や、次世代教育に関わるイベントへの協賛などの社会貢献活動に

向け、UFIグループ一丸となって取り組んでおります。また、「Environment (環境)」、「Social (社会)」、「Governance (企業統治)」の要素を考慮したESG経営を行うことで、社会課題解決への貢献と企業価値向上の両立を図り、持続的発展が可能な社会構築に貢献できるよう努力を続けております。

ESG方針

UFIグループの考えるESGとは、誠実かつ公正な事業活動を通じて企業理念を実践することにより、社会の持続可能な発展に貢献することです。

01

日本のみならずグローバルな視野で
様々な環境・社会課題を認識し、
事業活動を通じて
その解決に向けた価値を
創造及び提供していきます。

02

私たちの事業プロセスが
環境・社会に与える影響を常に考慮し、
その継続的な改善を進めるとともに、
社会にポジティブな影響を
広めていきます。

03

ステークホルダーとの
コミュニケーションを通して、
社会からのリクエストに
適切に応えられているか、
私たちの活動を常に見直していきます。

UFIグループのサステナビリティ目標

6つの分野の貢献拡大 誠実かつ公正な事業活動(CSR) + 長期的な成長を目標とした事業活動(ESG)



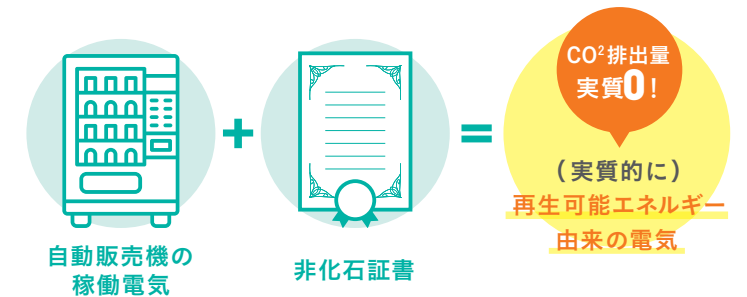
2025年度の取り組み内容

カーボンニュートラル自動販売機設置

(2024 年度継続)

自動販売機の年間消費電力量に相当する「再エネ指定の非化石証書※」により、自動販売機稼働時のCO²排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル自販機を設置。

※石油や石炭などの化石燃料を使っていない「非化石電源(電気をつくる方法)」で発電された電気が持つ「非化石価値」を取り出し、可視化した証書。



ベトナム・ティンホア省で幼稚園の新設工事を開始

ベトナム統計総局 (GSO)が2025 年1月に発表した中間国勢調査の結果によると、1960 年代に3 千万人台だったベトナムの人口は年平均+100 万人のペースで増加し、2025年1月には1 億人を突破。東南アジア3 位になりました。一方、ベトナムでは都市部を中心に保育園の不足が深刻化しており、低所得世帯が窮地に立たされています。

UFIグループでは自社ブランド SONOMA GARDEN FOODS より発売中の「スイカジュース」にベトナム産スイカを使用していることから、持続可能な取引と生産者の生活水準の向上を目指してベトナムでの幼稚園建設を支援しています。(2025年2月起工式を実施)



アップサイクル食品の開発

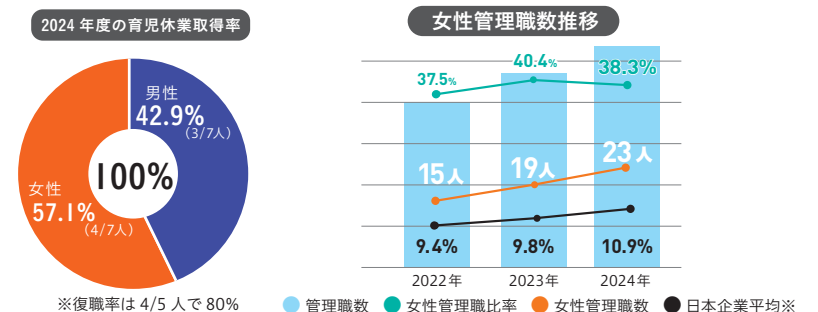
アップサイクル食品とは、本来であれば廃棄されていた食材や食料を活用し付加価値をつけた新たな商品のことで、環境負荷の小さい循環型社会の実現につながります。現在、廃棄されるはずだった玉ねぎの端材を使用したドレッシングの開発に取り組んでいます。



※写真はイメージです。

ダイバーシティの推進と公正な評価

- ・多種多様な人材登用
- ・同一労働同一賃金の徹底
- ・ジェンダー平等の実現
- ・女性管理職の割合増加
- ・育児休業制度の整備



※出典：株式会社帝国データバンク「女性登用に
対する企業の意識調査 (2024 年)」